

『村研年報』及び『村研ジャーナル』の定期購読のお願い

編集委員長からも報告のあったように、創刊された『村研ジャーナル』は会員だけの配布では採算が成り立たず、会員外への販売が焦眉の課題となっている。また、『村研年報』を単行本の形で毎年発行しているが、これまた売れ行き不振なことが多い。学会としても、上記2者の販売に協力する必要があり、出版社（農山漁村文化協会）との間で、販売協力にあたっての前提条件を話しあってきた結果、ようやく以下のような購読者に有利な条件を提示していただけたことになった。

①『村研ジャーナル』について

購読会員・団体会員あるいは定期購読を予約された方（または組織）には、定価の2割引（960円）で販売する。郵送料は購入者負担、代金振込料は出版社負担とする。

②『村研年報』について

会員（正会員・購読または団体会員）あるいは定期購読を予約された方には、定価の1割引き、郵送料を出版社負担で販売する。なお、代金振込料も出版社負担である。

③購入ルートについて

上記の購入ルートは購読会員（あるいは定期購読予約）という形で、直接農文協から発送する場合と購読者の馴染みの生協・書店を通じて配送する場合の、いずれの方法でも良い。ただし、後者の場合、出版社自体の割引きは行なわない。

④『村研年報』および『村研ジャーナル』のバックナンバーの購入について

会員が農文協に直接注文し、発送してもらう場合は、上記の割引定価となる。

正会員には『村研年報』の定期購読をお願いします。申込書を同封したので、村研事務局までお送り下さい。さらに、『村研ジャーナル』と『村研年報』の機関購入（研究室や図書館など）も働きかけて下さい。購読会員として入会も可能です。あわせて、正会員の入会も引き続き周囲に勧めて下さい。入会のしおりを同封したので、ご利用下さい。